

やさしさとふれあいのまちをめざして

西東京市長 保谷高範



この度、念願でありました西東京市として初めての総合計画（基本構想・基本計画・実施計画）を策定することができました。

これも総合計画策定審議会の委員の皆様をはじめ、策定過程におきまして貴重なご意見を賜りました市民の皆様、並びに市内企業・団体等の皆様のご協力による賜物であると、あらためて深く感謝申し上げます。

わが国における社会経済情勢は大きな変革期を迎えており、本市においても少子高齢化の進展、地球規模での環境問題、高度情報通信社会の到来への対応が迫られる一方、地方分権の推進により自治体における自己責任、自己決定が強く求められております。また、多様化、高度化する市民ニーズを的確に捉えるとともに、中長期的な視野にたった計画的かつ安定的な行政運営が必要不可欠となっております。

このような状況の中、合併によって誕生した本市は、これまで合併協議会において作成された新市建設計画を唯一の指針として、4つの重点施策、いわゆる（仮称）合併記念公園の整備、コミュニティバスの運行、地域情報化の推進、そしてひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進を施策の中心としながら各種施策を着実に実行してまいりました。

この度策定いたしました総合計画は、この新市建設計画を包含するとともに、さらに新たな市民ニーズを踏まえ発展させたものであり、言うまでもなく本市における最上位計画として位置付けられるものでございます。

やさしさとふれあいにあふれ、一人ひとりが輝き、そしてまちを楽しむことができる、そのようなまちづくりを進めるためには、誰もが同じ目線に立って、お互いを思いやり尊重することが大切であると思っております。今、まちづくりに求められている市民と行政の協働につきましても、こうしたことを前提としながら、市民と行政が連携、協力し、コミュニケーションを重ねる中で、はじめて成り立つものであるとの認識にたち、心のかよう行政運営を進めてまいりたいと考えております。

最後に、私は、この総合計画の基本理念、理想のまちの実現に向けて、また、真の西東京市を構築し、全国にメッセージを発進する自治体をめざして、誠心誠意努力してまいり所存でございます。市議会議員の皆様並びに市民の皆様におかれましては、一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成16年3月